

十五の時に馬賊になってやれと思ひ立ち、兄貴を誘って満州に向けて、熊本から佐保まで線路を歩き佐保から密航を企てたが、途中金がなくて結局渡満を断念した。

美術学校志す

たまたま徒弟学校の校長が美術学校の卒業生で、その時初めて美術学校があることを知った。絵なども教えるというところであったので、よし美術学校に進もうとこの時将来の目標を定めました。親戚や家には一切相談なしで本当に勉強しました。上京の旅費づくりのため、当時の百間港から熊本駅まで貨車で石炭を運んでいたが、線路に落ちていた石炭を拾いそれを売って十二円をつくらした。

家とび出したのは十八の時、一生懸命勉強した甲斐あって、中学三年程度の学力はついていて、汽車に乗ったのは生まれて初めてでした。

先ず、奈良の郡山中学の絵の先生をたよって、そこで半年勉強した。そして京都に出るとき先生から餞別に一円ももらった。当時奈良から京都までの交通費は五十銭だったのでこの一円は涙がでるほどうれしかった。

演歌師稼業

京都の高等工芸学校時代にいろいろア

工芸の中で漆が一番むずかしい。材料が複雑であるので、道具の研究から材料の研究までやらなければ一人前にはなれないです。

蒔絵が一番発達したのは、明治・大正時代です。明治天皇が工芸に非常に力を入れたからと思う。その当時えらい文化人が政府にたくさんいた。伯爵、男爵など、この人達が人材を養成してくれた。現在は逆で、もう二、三年で伝統的な蒔絵は完全に滅びるのではないかと思う。私の後継者は一人もおられません。私の技術は私一代のものでしょう。

真の蒔絵の芸術も、展覧会が開催されるようになってから、会場芸術となり、誤魔化しになってしまった。

大正四、五年頃、骨董熱がはやったが、模造品を作るのは全部明治大正の間で、技術があつたのでどんな模造品でも出来た。

ところが、この頃の人はもうたいがい八十ぐらいでしょう。この人達が死んだらもうおしまいですよ。博物館でも技術がないと修理ができなくてこまる。

現在は、この道だけでは食べていけない。後を継ごうとする人間はいるが、今の若い者には、厳しさが足りない、辛苦な仕事は向かないです。

私は金儲けよりもまだ蒔絵の世界で発明しなくてはならないものがたくさんあります。「人間国宝」になったが、十年間文部省は金をくれなかった。生活を

アルバイトをしたが、当時流行の演歌師稼業をしたのもその時ですよ。大道でギターを鳴らし、歌集を売って歩いた。歌集を五厘で仕入れ三銭で売るので二銭五厘も儲けた。その当時は月のうち十日も働らくとなんとか生活できたものです。目標は東京美術学校であつたので京都では試験勉強ばかりしていた。

明治四十四年に京都市立美術工芸学校描金科卒業と同時に二十円をもって上京した。私は身体が弱かったので、松浦牛太郎とどうい熊本出身の医学博士に、なんとかだで診てもらおうと、朝早く往來で博士が人力車で通るところをつかまえて「先生も熊本出身でしょう。私は貧乏して金を持ちません。ただで診てください。」と強引にたのみこみ往來で診てもらうことに成功したですよ。

それが機縁となって京都工芸学校を卒業するときは松浦先生から盛大に祝ってもらえた。

東京では最初に東大の近くに下宿したが、当時京都ではまだランプでしたが、東京の下宿では電灯がついており、初めはつけ方がわからずはかしい思いをした。

苦学時代

上野の美術学校時代は貧乏のどん底で金にはずいぶん苦労しました。

電車賃をけちって車掌と喧嘩したり、

心配しながらでは決していい作品はできませんですよ。

熊本人は根気がない

熊本は暮らしやすい。熱帯に近いもんだから東北の人間とくらべると根性がなく、熱しやすく冷めやすいですね。少くとも男は男らしく最後まで根性をもってもらいたい。細川家の政略が今でも残っていて足を引っさがる癖がある。

母校を愛せよ

現代の教育は何だか分らなくなってきた。自分の母校を愛することを知らない。よその学生を引っぱりてきて自分の学校を打ち壊しする。私は東大病院に入院している時に安田講堂を打ち壊すのを見てそう感じた。

また風采を見ても、日本人というものは非常に外国がぶれる。足もとにもいくらでも良いものがありますよ。

モナリザ展をみたが、あの時、奈良中尊寺の彌勒菩薩を思い出した。菩薩の笑みは人間の愛情を表わしているが、「モナリザ」の微笑は日本人を軽蔑した笑いだと思った。

日本の技術工芸は、中国とともに世界一ですよ。だから私は中国には一度行ってみたいと思うが、ヨーロッパにはいきたくないですよ。

蒔絵の国外流出

東京の習慣に馴れず下宿屋を追い出されたりしました。肥後奨学会の存在を知り、済々黉の校長していた井芹先生をたずねたり、警視庁警務局長をしていた赤星典太（熊本出身）にもたよったりした。

ようやく、肥後奨学金が決定され、月に十円ももらった。六円を生活費にまわし、あとの四円を学費や材料代として使った。貧乏暮らしには馴れていたので一日一食主義でした。私と同居していた友人はとても我慢ができず後では音をあげたようでした。

この苦学時代に自分を支えてくれたものは「自信」であった。必ず日本一になつてみせると自分に言いかけ、いかなる苦学にも耐えてきました。

学校騒動

大正八年東京美術学校漆工科研究科を修了してから昭和八年までの十四年間、東京美術学校の講師をしました。

大正五年から六年にかけて教授排斥運動が起こり、第一回の卒業生が野心を起こして、学校創立以来おる白山松哉教授を追い出して学校を乗っ取るうとした。美術部には、黒田清輝などえらい教授が多くて成功しなかった。

私は当時まだ学生で、唯一人先生側について学校を守った。この学校騒動の中で横田定雄に相談にいったら「自分らの野望のために皇室の仕事邪魔するもの

明治・大正時代のいい作品は、ほとんどヨーロッパやアメリカに流出している。近ごろ日本にやって来る外国人は、日本をよく研究してきているから、この人達の目はだまされませんよ。日本の作品のいいのがほとんど渡っているので修繕するための技術を学ぶため、わざわざ日本にやって来ている。来年もまた私の家に習いにくるそうです。

松山の号

松山という「号」は大工のかたわら蒔絵を研究、日本一になった師匠で、美術学校の教授だった「白山松哉先生」から、白山の「山」と松哉の「松」をいただいてつけたものです。松哉先生は、ほんとうに偉い先生でした。

高野松山出品作品年譜

明治43年 日英博覧会に色紙宮用品
昭和2年 獅子蒔絵色紙箱(帝展) 4年
 盧雁飾箱(帝展) 5年 蟹模様手箱
(帝展) 6年 静動文庫(帝展) 7年
 柏ノ木鬼之図蒔絵衝立(帝展) 8年 乾
 漆おはぐろ蜻蛉篋(帝展) 8年 連美
 術館買上 9年 蓬萊模様絵手箱(帝
 展) 11年 特選・ソ連美術館買上 11年
 蝦模様蒔絵手箱(新帝展推薦) 11年 初
 夏文庫(表に燕文様)(新帝展) 12年
 編蝠飾箱(文展) 13年 花蝶文宝石宮
 (文展) 14年 宮内省買上 14年 猫柳木

は、たたっ切れ」と言われた。そして二尺八寸の刀をくれたですよ。この騒動がもとで今日の蒔絵が衰微する原因になったものと思う。

細川候から援助をうける

美術学校を卒業すると細川の殿様(旧肥後藩主細川護之候)から会いたいからこいと使いがきた。殿様に会ったのはその時がはじめてで、顔が青く、長くしゃくられておられたように記憶しています。

その時殿様が、「何かひとつ作ってくれないか」と勧められたが、日限や材料の制限をしないことなど条件をつけた。

そして「奥義をきわめて天下を取るまであと十七年間かかる。この間月二十五円づつ補助してください。」と申し入れた。さすが殿様だけあって、その後この補助は十七年間続きました。私はこれによって生活の保証を得、研究と制作に没頭することができました。また私が世話するから女房をもてと言われ、三百五十円の大金をもらったが、そのときは女房は娶らず、憧れていた人力車に友人たちを乗せわけもなく走らせ、とうとう使いはたした。

蒔絵の衰微を憂える

蒔絵の修業中で一番苦労したことは、「秘伝」ですな。学校でも教えてくれないので技法を盗まなければならぬ。結局、盗みか工夫しかなかった。

地蒔絵小屏風(文展) 15年 栗鼠模様
 木地蒔絵手箱(聖徳太子奉讃美術展) 16年
 省買上 16年 国立近代美術館蔵 16年
 無花果木地蒔絵乱箱(文展) 23年 椿
 軸盆木地蒔絵(日展) 24年 木賊軸盆
 木地蒔絵(日展) 25年 月(月に木
 兎)手箱(日展) 27年 萩模様盛器
(日展) 28年 雁手箱(日展) 18年 外務
 省買上 30年 縞模様木地蒔絵手箱
(日展) 30年 宮内省買上 30年 乾漆丸
 形硯宮(明治・大正・昭和・名作美術展)
 31年 牡丹文様木地蒔絵手箱(日展)
 31年 文化財買上 32年 線文小箱(宝石
 箱)(日展) 32年 明治・大正・昭和名作美
 術展 32年 菊文様香合(日本伝統工
 芸展) 33年 竹塗花筒(変り塗)(日
 本伝統工芸展) 33年 忍草(日本伝
 統工芸展) 35年 乾漆魚文盛器(新日
 展) 35年 熊本県庁蔵 35年 糸巻香宮
(日本伝統工芸秀作展) 36年 乾漆哈
 形香合(日展) 38年 群蝶木地蒔絵手箱(日
 展) 38年 文化財買上 40年 乾漆鶴蒔
 飾箱(日展) 42年 乾漆竹塗提盤(変り
 型)(人間国宝新作展) 42年 文化財買上
 42年 蝶香合(人間国宝新作展) 43年
 橙変形茶器(人間国宝新作展) 44年 鈴
 虫香合(人間国宝新作展) 44年 文化財買
 上
 他に従来の蒔絵の手法全般及び変り塗
 の手法六〇種余りを文化財に納む。